

ばあちゃん、介護施設を間違えたら もっとボケるぞ！



「いばちゃん
せす寝んぞ
ください」
なせ、歩いて施設に
入所したのに
たった数ヶ月で
寝たきりになるの？
介護施設、介護士、アリエセプト

長尾和宏、丸尾多重
子著
ブックマン社
税別1300円

面接試験は7月6日。試験合格者は36時間の基礎研修を行い、10月に認定試験を実施する。受講料などは無料。試験合格者を登録し、依頼内容に応じて適任者を派遣する。派遣1回(2時間)につき3000円〜5000円(交通費込み)の謝礼が支払われる。

問い合わせは、県地域振興部国際課多文化共生推進室まで。

サ付き住宅補助 対象事業者募集

鹿兒島県はサービス付住宅政策室まで。

この「平成26年度鹿兒島県高齢者あんしん住まい整備事業」は日置市伊集院町内の県住宅供給公社分譲用地内に新築し、今年度内に完成するサ付き住宅が対象。国など他の補助を受ける場合は対象外。県では約4880万円の予算を組み、この範囲内で事業者を選定する考えだ。

詳細は県土木部建築課

西宮市で在宅医療に取り組む医師、長尾和宏さんと介護者や介護従事者の交流の場を運営する丸尾多重子さん。仲良し2人の「普段着」対談である。表題通り、ケアの良くない施設や杓子定規なケアマネ、それ以上から目線の医師などを徹底的にこき下ろす。要介護高齢者に寄り添ってきた2人ならではの丁々発止のやりとりが真に痛快だ。

「ほぼ全員が車椅子。無表情でボーっとしていた」と特養での実習体験を丸尾さんが話すと、長尾さんが

「薬でそうさせている。施設の人がね、いや主治医か必要以上にお薬を飲ませて、ボーっとさせて、介護の煩わしさ軽減させるのが良い医者なのかな」と皮肉る。

施設のまずい食事、強制的に食べさせる職員。「まさにプロイラー介護」と名付け「放牧介護」を提案する。

認知症薬のアリエセプトの副作用を知らない医師がいるという。吐き気や不眠、不穏、徘徊などが起きる可能性があるにもかかわらず

書評

介護・医療の問題点、痛烈に批判

「この薬を処方された翌日から夜中に徘徊を始めた人を知っている」と丸尾さん。長尾さんも「薬を止めた途端に徘徊が収まる人も沢山います。病気だけ診て人を診ない医療の象徴や」と応じる。

アリエセプトの効果には「10%以下、ああ本当のこと言っちゃった」と長尾さんが笑わせると、丸尾さんは「私の経験からは5%以下。逆効果は7割以上や。本人の社会性を失わせるという意味でね」と現場の声を伝える。

とにかく歯に衣着せない本音の物言い。だが、批判だけではない。高齢者ケアのあるべき姿、「まじくる」を提唱する。丸尾さんの造語で、「いろんな人が混ざり合い、しゃべり合う。支援する側、される側の壁もない」状態だ。「同じ土俵で普通に話し合いますよ」。そこから「近所さ

ん文化」が生まれ、「地域包括ケア」につながる。でも、「近所みんな、地域みんなで見よう」というのは当たり前のこと。わざわざ地域包括ケアなんて叫ぶのは、変よと丸尾さん。認知症について、目から鱗の話が次々出て来る。「一カ所に集めることに意味があるのか」「脳の病気になる前に関係性の障害」として、「忘れるのではなく新しいことを覚えられない」というのが持論の愛媛県西条市の職員に言及。同じ愛媛県の宅老所「あんき」の建物とケアを2人で推奨する。

15年間の介護保険制度を経て、かつて介護の旗頭であった宅老所の「復権」が必要だとよく分かる。ビジネスに走りがちな介護世界で、「人間とは」を改めて問う好著だ。

評 浅川澄一
ジャーナリスト
元日本経済新聞 編集委員

地方都市の施設開設情報

温泉付き物件

石川 石川県を地盤に不動産事業を展開するクライとにも温泉設備が整ったのが特徴とな社クラスコケアが運営するサービス付き高齢者向け住宅/住宅型有料老人ホーム「湯癒館 金沢・問屋町」が6月に金沢市内でオープンする。5月14日には関係者らを招いての竣工式も行われた。同社が運営する高齢者向け

2カ所目の訪看

山口 中国地方を中心に、同社では、今後も同ブランドを用いた訪問看護事業所の開設を進め地域の医療・介護ニーズに対応して行く考えだ。

市は5月1日、山口県宇部市で訪問看護事業所サンキウエルビイ訪問看護ステーション宇部を開設した。

居室数は40でデイサービス併設。住宅、デイにも温泉設備が整っているのが特徴とな社クラスコケアが運営するサービス付き高齢者向け住宅/住宅型有料老人ホーム「湯癒館 金沢・問屋町」が6月に金沢市内でオープンする。5月14日には関係者らを招いての竣工式も行われた。同社が運営する高齢者向け